

月 日 時刻	7月日(土)14:05		8月17日(土)14:20		9月21日(土)14:25		10月19日(土)14:15		11月19日(火)14:50		12月21(土)14:00	
場所	A		A		μS		A		A		A	
気温			35.2		26		20.8		20.4		10.0	
水温			25.0		19.0		17.9		17.8		15.2	
PH			7.0		250		7.1		360		6.7	
1 ヨコエビ	○		○		○		○		○		○	
2 ミズムシ(ダンゴムシ型)							○		○		○	
3 ミズムシ(ボート型)												
4 サホコカゲロウ	○		○		○							
5 カクツツビゲラ	○		○				○					
6 ユスリカ	○		○									
7 ガガンボ			○									
8 アメンボ												
9 プラナリア	○		○		○		○		○		○	
10 ミミズ												
11 イトミミズ												
12 ミジンコ												
13 クロゲンゴロウ												
14 ハイイロゲンゴロウ												
15 ガムシ												
16 ヤゴ(シオカラ等)												
17 カワニナ	○		○		○		○		○		○	
18 マルタニシ												
19 シジミ					○							
20 サカマキガイ												
21 ドジョウ												
22 クロメダカ												
24 ヌマエビ	○		○		○		○		○		○	
25 スジエビ												
26 ザリガニ	○											
27 サワガニ	○				○		○		○			
28 オタマジャクシ												
29 カワモズク												
30 アオミドロ	○		○									
31 サヤミドロ												
32 その他							ニンギョウツビケラ				マメシジミ	
備考	U字溝の水漏れ工事が完了し、多量の水が流れている。工事によって元々サワガニの棲家になっていたコンクリート壁の割れ目も塞がれてしまったが、サワガニは水路の水草にしっかりと付いていた。		水量が豊かな中、沢山のヌマエビが棲息している。境川水系全体に広がっているようである。残念ながらサワガニは観察できなかった。水路に壅みもなく水流も強くて棲みにくいのではないか、		子持ちのサワガニが見つかった。これからもここで生き続けるであろう。水路の補修で身を隠す場所が無くなってしまったが、しっかりと生き続けている。感激。		サワガニの幼体が2匹捕獲できた。先月捕獲した卵を持った親ガニの子供であろうか。無事育っているよううれしい。ニンギョウツビケラが初めて捕獲できた。すでに10年以上続いているのに。		稻の収穫が終り、水路の流量も少なくなった。又マエビの多さに驚かされる。水路の壁についているコケ類をエサとしているのだろう。これだけ密度が高いと、周りの生物に影響を与えていることであろう。		水門は開けられているので相沢川からの水は届いておらず、湧水だけで10センチほどの水位を保っている。久しぶりにマメシジミが4個体観察されたが、サワガニは見出せなかった。ヌマエビは小体長のものが多かった	